

令和6年度 田川郡教育研究所教育論文 募集要項

田川郡教育研究所

1 目的

日々の教育実践に取り組んでいる教職員等の教育論文を募集し、本郡の教育関係者の意欲喚起および人材の育成を図るとともに、優れた教育実践の普及を行い、教育活動の充実と振興に資する。

2 主催 田川郡教育研究所

3 募集部門及び内容

①一般の部（教職経験年数4年以上） ②若年の部（教職経験年数3年以下）

A 学校教育部門（児童生徒が研究対象）

- | | |
|-------------|------------|
| ア 国語 | セ 特別活動 |
| イ 社会 | ソ その他の高校教科 |
| ウ 算数・数学 | タ 特別支援教育 |
| エ 理科 | チ 生徒指導 |
| オ 生活 | ツ 食育 |
| カ 音楽 | テ 保健室経営 |
| キ 図画工作・美術 | ト 図書館教育 |
| ク 技術 | ナ 情報教育 |
| ケ 家庭 | ニ 課外活動 |
| コ 体育・保健体育 | ヌ 人権教育 |
| サ 外国語活動・外国語 | ネ 学級・学年経営 |
| シ 道徳 | ノ 幼稚園教育 |
| ス 総合的な学習の時間 | |

B 生涯学習部門（地域の人々が研究対象）

- ア 学校対象
- イ 社会人対象

C 学校経営・運営部門（教職員が研究対象）

- | | |
|----------|--------|
| ア 学校評価 | エ 組織管理 |
| イ 学校連携 | オ 校内研修 |
| ウ 教育課程管理 | カ 地域連携 |

4 応募資格 田川郡内の町村立学校に勤務する教職員（個人・団体）

5 応募要領

(1) 内容・構成等

① 内容

教育論文のまとめ方は、仮説を立ててその有効性について実践を通して検証しながら結論を述べていく方法や、課題解決のために角度をかえたいくつかの実践を通して解決策を探求しながら結論を述べていく方法等がある。取り組もうとする課題に対応した柔軟な方法で行うこと。

② 構成

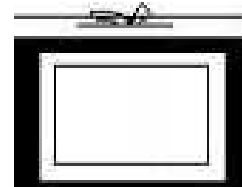
- A 4用紙 25枚以内で作成すること。これ以外の資料の添付は一切認めない。
- 「論文の要旨」「目次」「本文」の順に作成し、下記の点に留意すること。
 - ※本文とは別に「論文の要旨」「目次」をそれぞれ1枚にまとめること。
 - ※本文には以下の項目を設定し、これ以外の項目は必要に応じて設定すること。
 - ・主題設定の理由 ・主題の意味 ・研究の目標 ・研究の仮説
 - ・研究の構想 ・研究の実際 ・成果と課題
 - ※目次、資料、参考文献等も枚数に含む。

③ 資料

資料は論文構成上必要な最小限にとどめ、本文中に入れること。この場合縮小しすぎて不鮮明にならないように留意すること。(別添でのデータ等の貼付は不可)

④ 表紙

表紙は表裏ともA 4判黒表紙とし、表紙の上部には別紙【様式1】を貼付すること。背表紙は厚紙を使用し、主題、所属及び氏名を明記すること。



⑤ 出典の明記

参考文献の内容を引用する場合は、著書名、編著者名、発行所等その出典を明記すること。

⑥ 留意事項

- 肖像権、著作権等に留意すること。
- 発表校等の研究紀要や長期研修に於ける報告書等をそのまま提出することのないよう留意すること。
- デジタルコンテンツ及び開発教材の募集は行わない。デジタルコンテンツ及び開発教材を活用した場合、その内容は本文中に示すこと。

(2) 提出期日及び提出先

令和7年1月23日(木)までに当該町村教育委員会教育長に提出すること。

6 審査

(1) 審査機関

筑豊教育事務所(指導主事)並びに田川郡教育研究所(所員)が審査を行う。

(2) 審査規準

- ① 研究の趣旨に価値があるか。(課題性、汎用性)
- ② 研究の構想が合理的で創造性に富むか。(合理性、創造性)
- ③ 研究の実践が着実に積み上げられているか。(計画性、継続性)
- ④ 研究の構想と実践につながりがあるか。(一貫性、論理性)
- ⑤ 明瞭正確でわかりやすい記述であるか。(明瞭性、正確性)

7 賞

最優秀賞、優秀賞、優良賞、佳作賞の4賞とする。
なお、各賞は、審査基準を満たしておれば、人数に制限なく授与する。

8 入賞者の発表及び表彰

入賞者の発表は、令和7年3月3日（月）以降に行う。

入賞者表彰については、次年度に論文表彰式を行う。

9 その他

○応募者・受賞者の紹介については、所報に掲載し郡内の各小中学校及び教育関係機関に配布する。

○応募論文は審査員の文章による審査評を貼付し、返却する。

○募集要項およびテンプレートは田川郡教育研究所のホームページに掲載する。

※ 論文に関する質問・相談等は下の田川郡教育研究所にお願いします。

田川郡教育研究所

〒825-0002 田川市伊田松原通り3292-2

田川総合庁舎 教育事務所内

[TEL・FAX] 0947-47-1081

[E-mail] tagawa-lab@fukuoka.email.ne.jp

[URL] <http://tagawa-lab.sakura.ne.jp/>

担当者 長野 修

【様式 1】

↑ こちらに綴じ紐がくるように黒表紙に添付してください。

令和6年度 田川郡教育研究所 教育論文		番号Ⅰ【事務局使用欄】		番号Ⅱ【事務局使用欄】			
応募部門							
①一般の部（教職経験年数4年以上） A 学校教育部門			②若年の部（教職経験3年以下） B 生涯学習部門 C 学校経営・運営部門				
応募内容	主題						
	副題						
区分	所 属		職 名	ふりがな 氏 名	性 別	年 齢	職 歴
個人	町・村立 学校				男・女	歳	年
区分	所 属 ・ 団 体 名		職 名	ふりがな 代 表 者 氏 名	性 別	年 齢	職 歴
団体					男・女	歳	年

- (記入上の注意)
1. 番号Ⅰ・Ⅱの欄には、応募者は記入しないでください。
 2. 応募部門の欄は、①一般の部 ②若年の部 及び A・B・Cのいずれかを○で囲んでください。
 3. 応募内容の欄は、それぞれの内容（ア・イ・ウ等）を記入して下さい。
 4. 氏名には、ふりがなを忘れないようにしてください。
 5. 年齢、職歴（教員採用からの経年）の欄は、令和7年3月31日現在で記入してください。
 6. 団体の部については、全員の所属名・職名・氏名を別紙で添付してください。